

平成 25 年 3 月発行(平成 25 年 7 月 4 日改訂) 朝霞市役所都市計画課

第5回基地跡地歴史勉強会を開催しました

平成25年3月17日(日)に、朝霞市役所5階大会議室において、「第5回基地跡地歴史勉強会」を開催しました。

これまで行ってきた勉強会、及び狭山市立博物館の事例視察を踏まえて、「基地の歴史を後世にどのように伝えていくか」という重要なテーマについて、ワークショップ形式で話し合いました。

「学ぶための会」から「伝えるための会」へと移行するための 第一歩となりました。



開催日時: 平成 25年3月17日(日) 14:00~16:30

開催場所:朝霞市役所 5階大会議室

参加者数:29名

アドバイザー:佐藤洋一 早稲田大学教授

■検討内容

- (1) これまでの活動内容の報告
- (2) 勉強会の趣旨
- (3) ワークショップ形式での話合い
- (4) アドバイザーからのコメント
- (5) 紙芝居上映

歴史の伝え方

1月12日の第4回歴史勉強会の際のアンケートでは、「当時を知る方への聞き取り」「勉強会の継続」「ジオラマ作成」「紙芝居」等の意見が多くだされました。そこで、今回のワークショップでは、これらの取組を中心に検討を進めました。

○当時を知る方への聞き取り

米軍接収時代は戦後のため、当時を知る方が市内にもおられることから、そのような方に直接お話を伺い、記録を作成する手法です。狭山市では市民団体が聞き取りを行い、冊子を作成していました。

○勉強会の継続

昨年度から開催しているセミナー形式での勉強会です。

○ジオラマ作成、映像作製

米軍基地や周辺の街などをジオラマや映像で表現する手法です。視覚的にわかりやすい特徴があります。狭山市では、博物館のボランティアが中心となって作成していました。

〇紙芝居

当時の想い出やエピソードを絵と文章にして表現する手法です。市民の田中さんが作成してくださっています。



ジオラマ(狭山市立博物館)



田中さんによる紙芝居

市民がやりたいことの発表

ワークショップでは、具体的にやってみたい取組毎にグループを分け、それぞれ「誰に、何を、いつ、ど こで、どんな効果があるか」について検討しました。

各グループの意見から、たくさんの人に朝霞の歴史を知ってもらい、誇りや愛着の持てる朝霞市にしたい という想いが伝わってきます。

勉強会グループ

誰に	若い世代⇒市民⇒全国民
何を	史実を忠実に!
いつ	やれることは早く、計画的に!
どこで	あらゆる媒体を使って!
その効果	町おこしになる

聞き取りグループ

誰に	次世代に
何を	戦争体験とその生活を
いつ	1年後ぐらいに
どこで	朝霞の森及び公共施設で(学
	校、インターネット)
その効果	朝霞が好きになる。平和な社
	会。自ら学び、自ら探す。

ジオラマグループ

誰に	朝霞を担っていく子どもたち
何を	基地を中心に囲い取り巻く街
いつ	展示施設オープン時
どこで	博物館や図書館
その効果	視覚効果として誰もが見るだ
	けでわかる

紙芝居グループ

誰に	歴史の恥部に関心がある人
何を	真実
いつ	今!!
どこで	どこでも
その効果	戦争の裏面を知る

映像グループ

誰に	朝霞はもちろん近隣の人たち に、「朝霞の森」 にレクリエーションに来る人達
何を	朝霞市の変遷。特に近代史、第二次世界大戦やベトナム戦争まで
いつ	オープンした時から
どこで	展示室、小中学校
その効果	真実の歴史を知り、朝霞を誇り に思う市民になる

その他グループ	
誰に	段階的に。市民から4市へ、そ
	して全国へ
何を	・戦争の歴史(戦争とは何だっ
	たのかを考えるきっかけに)
	• 朝霞がどのような被害を受け
	たのか
いつ	・小中学校の授業(情報がまと
	まってきたら)
	• 市民の講座(年 1~2 回)
どこで	・市内の既にある施設に出向く
	・公民館、町内会館では講演で、
	小中学校では授業で、博物館
	ではジオラマや映像で
その効果	• 朝霞を愛する人が増える
	・悲惨な戦争をしないで勝つこ
	とを考える

今後の予定について

ワークショップを通じて、やりたいことの方向性が見えてきました。

次年度は、具体的に行動に移し、取組の形を残していくことが大切です。また、基地跡地管理運営準備会 議との連携をしやすくするため、連絡調整の窓口等を設置することも今後必要となります。

ご意見、お問い合わせ先は

朝霞市都市計画課みどり公園係 TEL 048-463-0374 (直通) FAX 048-463-9490